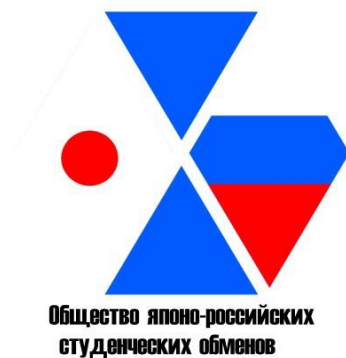


第 34 期日本ロシア学生交流会 関東本部 報告書



令和3年度幹事長挨拶

日本ロシア学生交流会代表
華東師範大学3年 上原逸人

弊会は毎年、年間の活動を活動報告書に纏めさせて頂いています。しかし例年報告書の内容の殆どを占める「訪日・訪露企画」は今年の開催も叶いませんでした。その穴を埋めるように活動して参りましたが、昨今の情勢に伴い渡航は困難を極め、この状況は今後も当面の間続くと思われれます。

ここ数十年で航空運賃は大幅に下落し、私達大学生にとって留学や旅行で海外へ行くことは、ごく当たり前の日常となりましたが、今思えば沿革の最初にあるように、弊会が設立された当初はロシアへの渡航は困難を極めました。同じように渡航が極めて厳しくなった現在、当会は改めて原点に立ち返り、その当たり前がどれほど恵まれたものだったのかを再認識する機会となったのかもかもしれません。

幸いにも時代が下った事で技術革新が進み、インターネットやSNSという強力な交流ツールがあります。令和3年度は手探りでありながらも、50人を超える新入会員を迎え、これらのツールを活用した高頻度でのオンラインイベントの実施を軸とした、今までの形とは全く違う活動を展開した結果、多くの会員が弊会の活動に参加し、最終的に開催は叶いませんでしたが、「ロシアの日～Powered by 渋谷渦渦～」の実施決定にまで至りました。

先輩方が受け継いで下さった交流の流れはこのような困難な状況に於いても、絶対に止めてはならないと考えております。またいつかお互いがまた海を越えて会える日を心待ちにしながら、今できる精一杯のことで参りましたので、今年度の活動が会の存続、そして将来の日露友好の一助となれば幸いです。

1年間お世話になりました関係各所の皆様には心より御礼申し上げます。そして、今後とも弊会を何卒宜しくお願い致します。

目次

第1章 日本ロシア学生交流会関東本部について

1. 1 当会の沿革
1. 2 関東本部及び会員構成について
1. 3 これまでの訪日・訪露企画

第2章 活動日程及び収支報告について

2. 1 年間活動日程
2. 2 年間収支報告

第3章 活動内容について

3. 1 主な企画内容（オンライン）
3. 2 主な企画内容（対面）
3. 3 その他の活動内容

第4章 特別企画について

4. 1 第5回ロシア関連分野就職促進シンポジウム ミチター
4. 2 ロシアの日～Powered by 渋谷渦渦～（中止）

第一章 日本ロシア学生交流会 関東本部について

1. 1 当会の沿革

1989年、東欧革命により現地への渡航もままならない中、ソ連に赴き現地で同世代の学生たちと直接ひざを付き合わせて語り合おうと考えた学生有志により、同年6月に当会の前身となる「日ソ学生交流会」が設立されました。当時はソ連に関する正確な報道も少なく絶対的な情報量が不足していましたが、得られた僅かな情報を元にして毎週のように「ソ連とは、新生ロシアとは何か」と熱い議論を交わしていました。初期の2年間は首都モスクワを訪問し、とにかく現地の学生との対話をしようという意気込みの元に活動していましたが、やがてソ連・ロシア激動の時代で交流先を見つけることすら困難となりました。

そのような中、財団からの助成金が一時打ち切られ、やむなく自費でモスクワへの渡航が2度実施されました。格安航空券の無いこの時代に「学生が自費で」渡航するのに必要な資金集めに際しては、想像を絶する苦労があったと伺っております。しかしそれでも1994年、会員のカンパによって第1回訪日企画が敢行され、モスクワから1名の学生を招致することができました。

そして翌年の1995年はロシア第三の都市、ノヴォシビルスク市の学生と新たに定期的な交流事業が開始されることとなり、当会にとって大きな転機となりました。当時顧問を務めてくださった和田氏とフロロヴァ女史との出会いから始まる交流により、主にノヴォシビルスク国立大学東洋学部との交流を継続的に実施し、第1回ノヴォシビルスク訪問事業が実行されました。1996、97年には日本の家庭を知ってもらうことを目的としたロシア人のホームステイ企画を本格的に始めました。

1998年からはそれまで2期に渡って同年中に行なっていた訪日・訪口企画について、主に財政的理由からそれぞれ隔年開催とすることと致しました。1999年には新しい試みとしてモスクワ再訪問を行い、現地の学生と交流しました。

そして2001年の夏より、現在も続くモスクワ郊外の街、リャザンとの交流が開始されました。95年より続くノヴォシビルスクとの交流も現地メンバーが大きく入れ替わり、さらに活動は充実して参りました。2009年には創立20周年を迎え、この間に当会からは広く社会で活躍する人材を多数輩出しています。

2011年の春には大阪大学・同志社大学の学生を主な会員とし、関西本部を設立しました。この年は1997年を最後に途絶えていた訪日・訪口企画の同年開催を14年ぶりに

果たす運びとなりました。2012年は関東関西2本部体制の中で4都市間同時交流という試みを始めました。

2013年には外部の方々を招いての斬新かつ大規模な企画を皮切りに、北方四島学生交流企画への参加など多岐に渡って活動が実施されました。2014年では新たな試みとして、東京大学の学園祭である駒場祭での出店を行ったことで、本会の活動・ロシアのことについて一般の人に広く知ってもらうきっかけとなりました。2015、16年には会員数が増加し、様々な大学から会員が集まるようになり活動に活気が生まれました。

2017年には、前年に天候不順によりやむなく中止した北方領土への訪問を果たしました。更には、2013年度に開催された『日ロ学生シンポジウム』を、ロシア関連分野就職シンポジウム『ミチター』と名前を改め再開する運びとなった上に、東京大学のもう一つの文化祭である五月祭へも出店を行いました。また関西支部が「セーミチキ」として名を改め別組織として独立し、姉妹団体としての交流は現在も続いております。

2018年は、北方領土に住むロシア人とのビザ無し交流、五月祭への出店、第2回シンポジウム『ミチター』を開催致しました。また新たな試みとしてロシア料理会や、カザンとの交流を目的とした「カザン班」の設立、活動を行い、2019年も同様にシンポジウム『ミチター』をはじめ、ロシア語教室、料理会、バラライカ教室などを開催しました。

2020年2月には、東京・芝公園にて日本初のロシア・ユーラシア文化祭『ブラズニク』を開催しました。著名人の方をお招きしたトークショーや、舞踏、演奏の催し物、グッズや食品の販売まで、イベント内容は多岐に渡り、多くのご来場者様に喜んでいただけました。

しかし開催直後に新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、予定していた訪日・訪露企画は中止に追い込まれ、活動を大幅に縮小せざるを得ない年となりました。このような状況の中でも、就職シンポジウム『ミチター』を4回目にして初となるオンライン開催に漕ぎつけました。

そして2021年度、緊急事態宣言の発出が複数回に渡り続く中、パンデミックは終息の兆しを見せません。しかし私達は全く新しい活動をしていきます。今年度より開始した月2回のオンライン日露交流会をはじめ、月の約半分を活動日にあて多岐に渡るイ

イベントを開催し、日露間だけでなくメンバー同士の交流を絶やさず、むしろ加速させる事を目標に活動して参ります。

1. 2 関東本部及び会員構成について

関東本部は1989年に設立された日ソ学生交流会を前身として、現在に至るまでノヴォシビルスク・リャザンとの学生間交流を中心とした活動を行ってまいりました。近年は訪日・訪口企画以外にも、北方領土を訪問するビザなし交流への参加、駒場祭への出店など、活動は多岐に渡ります。ロシア語が専攻・第二外国語の学生に限らず、ロシアやその周辺地域への関心、学生交流への興味などが動機で入会する学生も多いです。

令和3年度は活動の本格的なオンライン化に伴い、会員構成に大きな変化が生じました。かつての中心メンバーは上智大学・東京外国語大学など、特定大学の学部生が中心でしたが、新歓及び活動がオンライン主体となった事で学校の垣根を超えやすくなり、実に30校を超える様々な大学・大学院・専門学校から会員が集まりました。また関東地方に限らず東北や東海地方などの遠方からオンラインイベントに参加する会員の入会、そして社会人学生の参加により、交流及び活動の幅が大きく広がりました。

1. 3 これまでの訪日・訪露企画

1989年6月 日ソ学生交流会結成

1990年代

1990年8月 第1回訪ソ企画日本人13名をモスクワへ派遣

1992年8月 第2回訪ソ企画日本人13名をモスクワへ派遣

1993年7,8月 第3回訪口企画日本人をモスクワ・極東へ派遣

1994年 第4回訪口企画日本人をモスクワ・極東へ派遣

第1回訪日企画ロシア人1名をモスクワから招致

1995年8,9月 第5回訪口企画日本人7名をイルクーツク・ノヴォシビルスクへ派遣

1996年3月 第2回訪日企画ロシア人学生8名・教師1名をノヴォシビルスクから招致

8,9月 第6回訪口企画日本人10名をイルクーツク・ノヴォシビルスクへ派遣

1997年3月 第3回訪日企画ロシア人10名をノヴォシビルスクから招致

- 1997年8,9月 第7回訪日企画日本人8名をノヴォシビルスクへ派遣
1998年8月 第4回訪日企画ロシア人10名をノヴォシビルスクから招致
1999年8,9月 第8回訪日企画日本人16名をモスクワ・ノヴォシビルスクへ派遣

2000年代

- 2000年8月 第5回訪日企画ロシア人9名をノヴォシビルスクから招致
2001年8月 第9回訪日企画日本人10名をノヴォシビルスク・リャザンへ派遣
2002年8月 第6回訪日企画ロシア人をノヴォシビルスクから7名、リャザンから5名招致
2003年8月 第10回訪日企画日本人13名をノヴォシビルスク・リャザンへ派遣
2004年8月 第7回訪日企画ロシア人をノヴォシビルスクから6名、リャザンから3名招致
2005年8月 第11回訪日企画日本人10名をノヴォシビルスク・リャザンへ派遣
2006年8月 第8回訪日企画ロシア人をノヴォシビルスクから5名、リャザンから9名招致
2007年8月 第12回訪日企画日本人7名をノヴォシビルスク・リャザンへ派遣
2008年8月 第9回訪日企画ロシア人をノヴォシビルスクから3名、リャザンから10名招致
2009年8月 第13回訪日企画日本人13名をノヴォシビルスク・リャザンへ派遣

2010年代

- 2010年8月 第10回訪日企画ロシア人をノヴォシビルスクから7名、リャザンから7名招致
2011年5月 日本ロシア学生交流会関西本部発足
8月 第14回関東本部主催訪日企画日本人14名をノヴォシビルスク・リャザンへ派遣
2012年8月 第11回関東本部主催訪日企画ロシア人10名をリャザンから招致
第15回関東本部主催訪日企画日本人5名をノヴォシビルスクへ派遣
2013年8月 第12回関東本部主催訪日企画ロシア人8名をノヴォシビルスクから招致
第16回関東本部主催訪日企画日本人10名をリャザンへ派遣
2014年8月 第13回関東本部主催訪日企画ロシア人9名をリャザンから招致
第17回関東本部主催訪日企画日本人10名をノヴォシビルスクへ派遣
2015年8月 第14回関東本部主催訪日企画ロシア人6名をノヴォシビルスクから招致
第18回関東本部主催訪日企画日本人8名をリャザンへ派遣

- 2016年8月 第15回関東本部主催訪日企画ロシア人6名をリヤザンから招致
第19回関東本部主催訪日企画日本人10名をノヴォシビルスクへ派遣
- 2017年8月 第16回関東本部主催訪日企画ロシア人9名をノヴォシビルスクから招致
第20回関東本部主催訪日企画日本人10名をリヤザンへ派遣
- 2018年8月 第17回関東本部主催訪日企画ロシア人6名をリヤザンから招致
第21回関東本部主催訪日企画日本人6名をノヴォシビルスクへ派遣
- 2019年8月 第18回関東本部主催訪日企画ロシア人6名をノヴォシビルスクから招致
第22回関東本部主催訪日企画日本人11名をリヤザンへ派遣

2020年代

- 2020年 COVID-19 新型コロナウイルス感染症で中止
- 2021年 COVID-19 新型コロナウイルス感染症で中止
高頻度のオンライン交流会開催に本格転換

第二章 活動日程及び収支報告について

2. 1 年間活動日程

3月

- 3月7日 第0回定例会
- 3月22日 ロシア連邦協力庁主催 写真展オープニングイベント出席
- 3月28日 第1回入会説明会

4月

- 4月2日 ノヴォシビルスク国立工科大学日本語授業ゲストボランティア
第2回入会説明会
- 4月7日 第3回入会説明会
- 4月8日 クバン国立大学日本語授業ゲストボランティア
- 4月10,11日 上智大学フレッシュマンウィーク第1週出席
- 4月13日 第4回入会説明会
- 4月15日 早大 Crich 新歓出席
- 4月17日 第1回日露交流会
- 4月18日 ロシア系学生団体合同新歓出席
- 4月19日 第5回入会説明会
- 4月19日 第6回入会説明会
- 4月24,25日 上智大学フレッシュマンウィーク第2週出席
- 4月25日 第2回日露交流会(新歓日露交流会)
- 4月28日 第1回定例会

5月

- 5月2日 第1回座談会
- 5月3日 第2回座談会
- 5月6日 第3回座談会
- 5月9日 第1回軍事パレード観賞会
第7回入会説明会
- 5月12日 第8回入会説明会
- 5月14日 ロシア語超初心者向け勉強会
- 5月15日 第9回入会説明会
- 5月16日 第4回座談会
- 5月17日 クバン国立大学日本語授業ゲスト

- 5月19日 第5回座談会
第10回入会説明会
- 5月22日 (株)テクノソリューション&北大モスクワ支部ご主催フェアにてプレゼン
第3回日露交流会(シベリア北海道センター)
- 5月23日 日本語交流事業《架け橋》参加(サンクトペテルブルク国立経済大学)
- 5月24日 第2回定例会(欠席者向け別回)
- 5月25日 【外部】「新輸送路ビジネスセミナー」参加
- 5月27日 第6回座談会
- 5月28日 第2回定例会
- 5月30日 第4回日露交流会(シベリア北海道センター)

6月

- 6月5日 第7回座談会 テーマ「ソビエト連邦」
- 6月9日 第5回日露交流会(モスクワ市立大学)
- 6月11日 第1回東西交流会(セーミチキ)
- 6月13日 第8回座談会 テーマ「軍歌・革命歌・愛唱歌」
- 6月15日 第9回座談会 千葉県民の日記念
- 6月17日 第10回座談会 テーマ「クラシック音楽」
- 6月18日 第11回座談会 テーマ「バレエ」
- 6月24日 第12回座談会
- 6月26日 第6回日露交流会
(シベリア北海道センター&ノヴォシビルスク国立工科大学)
- 6月27日 「ハチとパルマの物語」映画鑑賞会
- 6月28日 第3回定例会
- 6月30日 第13回座談会

7月

- 7月3日 ロシア文学講演会出席
- 7月5日 「ハチとパルマの物語」映画鑑賞会 別回
- 7月8日 「DAU ナターシャ」映画鑑賞会
- 7月9日 一橋大学管弦楽団 Summer concert
- 7月10日 第14回座談会 テーマ「軍事」
- 7月11日 第1回日露 Among Us 大会
- 7月14日 【外】元産経新聞モスクワ支局長による就活ウェビナー出席
- 7月18日 セーミチキ主催勉強会参加

8月

- 8月5日 東京外大ロシアサークル「リュボーフィ」との交流会
- 8月14日 第7回日露交流会（日露青年）
- 8月18日 第15回座談会「建築」
- 8月20日 第2回軍事パレード鑑賞会（セーミチキ合同）
- 8月21日 第8回日露交流会（シベリア北海道センター）
第16回座談会「アネクドート」
- 8月23日 第17回座談会「中央アジア」
- 8月26日 第9回日露交流会（シベリア北海道センター）

9月

- 9月5日 日露青年フォーラム2021 参加
- 9月9日 第18回座談会「料理」
- 9月11日 シベリア抑留勉強会
- 9月17日 「ミチター」登壇者様事前インタビュー 駒木明義様
- 9月23日 「ミチター」登壇者様事前インタビュー 森一馬様
- 9月26日 第5回定例会
- 9月27日 「ミチター」登壇者様事前インタビュー 大森貴之様
- 9月28日 「ミチター」登壇者様事前インタビュー 牧野寛様

10月

- 10月9日 クラースヌイ・フィールハーモニー管弦楽団第3回定期演奏会
- 10月10日 第5回「ミチター」
- 10月14日 第19回座談会「文学」
- 10月16日 第20回座談会「未承認地域」
- 10月17日 第6回定例会
- 10月19日 第21回座談会「宇宙開発」
- 10月24日 第9回日露交流会（日露青年）
- 10月28日 第7回定例会「プレゼン大会」
- 10月29日 第22回座談会
- 10月30日 第23回座談会
- 10月31日 高田馬場対面レク

11月

- 11月3日 映画鑑賞会（セーミチキ合同）
- 11月4日 第24回座談会
- 11月7日 第10回日露交流会（シベリア北海道センター）
- 11月12日 オンラインバレエ鑑賞会
- 11月13日 【外】日ロ交流協会 オンライン講演会参加
- 11月14日 第25回座談会「埼玉県民の日記念」
- 11月16日 初心者向けドイツ語講座
- 11月18日 第26回座談会
- 11月21日 映画鑑賞会「1941」
- 11月23日 第11回日露交流会（モスクワ市立大）
- 11月28日 第8回定例会

12月

- 12月1日 第27回座談会
日本・ロシア協会様主催勉強会出席
- 12月4日 映画鑑賞会「やさしい女」
- 12月5日 日露静岡研修
- 12月13日 第28回座談会「日露交流史」
- 12月19日 ロシア・ユーラシア料理会
- 12月22日 第10回定例会

1月

- 1月16日 演劇鑑賞会「地点・ギャングラー」

2月

- 2月19日 第12回日露交流会（シベリア北海道センター）
- 2月25日 演劇鑑賞会「早大コンツェルト・夜明けの星たち」
- 2月28日 第12回定例会

2. 4 年間収支報告

作成 2022 年 3 月 16 日

日本ロシア学生交流会 令和3年度 収支報告書

収入の部 (単位：円)

項目	備考	金額
前年度繰越金		618,957
年会費	3000円×67人	201,000
ミチター売り上げ	ライブ25754円 アーカイブ2956円	28,710
預金利息		3
雑収入	代表立替金額差額	723
当期収入合計		230,436
収入合計		849,393

支出の部 (単位：円)

項目	備考	金額
フライヤー印刷	4/9 アクセア 代表立替	7,491
フライヤー印刷	4/17 ラクスル 代表立替	2,079
映画チケット	6/4 山本修夢 様宛振込(手数料220円)	36,220
映画チケット	11/21 グランドシネマサンシャイン 代表立替	9,000
コンサートチケット	6/29 500×10人 代表立替	5,000
抑留講演会謝礼	9/28 西野 様宛振込(手数料275円)	10,275
ミチター謝礼	10/14 SAMI JAPAN 様宛振込(手数料209円)	10,209
ミチター謝礼	10/14 Route X 様宛振込(手数料209円)	10,209
ミチター謝礼	10/14 坂本拓哉 様宛振込(手数料110円)	10,110
ミチター謝礼	10/15 根畑陽一 様宛振込(手数料209円)	10,209
ミチター謝礼	10/19 森一馬 様宛振込(手数料110円)	10,110
料理会材料	12/18 赤の広場 銀座店 代表立替	6,485
料理会材料	12/19 GREEN NASCO 代表立替	4,650
料理会会場	12/19 ライフ中日黒店 代表立替	4,361
料理会材料	12/19 目黒区青少年プラザ 代表立替	4,000
定例会会場	10/16 スペイシー 代表立替	3,097
定例会会場	10/30 スペイシー 代表立替	2,904
定例会会場	1/7 インスタベース 代表立替	10,514
会議会場	2/22 代表建替	2,574
代表建替振込手数料	3/16 代表立替分61435円 一括精算	330
当期支出合計		159,827
次年度繰越金		689,566
支出合計		849,393

第三章 活動内容について

3. 1 主な企画内容（オンライン）

今年度はテーマ別座談会をはじめとした新たなイベントを企画し、zoom 利用を主体にオンラインイベントを高頻度で開催しました。

○定例イベント

① 座談会・テーマ別座談会

当初は新歓の時期に新入生向けの気軽な交流の場として用意した企画でしたが、6月以降はそれぞれの回ごとに、ロシアなどに関連する特定のテーマを設けた座談会を全28回に渡り開催致しました。

事前に募集等でテーマを設定し、参加希望者で日程調整をした上で開催しました。芸術や歴史など幅広いテーマを設定したことで、特定のジャンルに関する特別な知識を持つ会員の需要にマッチし、今年度の活動を象徴するイベントの一つとなりました。

② オンライン日露交流会

例年夏に開催していた訪日・訪露企画は昨年度に引き続き、感染症による世界規模での渡航制限の影響により開催が不可能となりましたが、今年度より概ね月に1~2回、zoomを利用したオンライン日露交流会を12回にわたり開催しました。

当初は主にノヴォシビルスクを拠点とし、訪日訪露企画でもお世話になりました「シベリア・北海道センター」の皆様と、また夏からはカザン国立大学の学生兼インフルエンサーのアディリヤさんが中心となり設立された団体「日露青年」の皆様との交流も開始いたしました。

言語は主に日本語を使用しましたが、会員や先方の方々の語学レベルに合わせて柔軟に調整し、ロシア語学習者の会員にはロシア語を使用する時間を設けました。また全編ロシア語での開催回も存在しました。

世界中と繋がることの出来る、活動のオンライン化を逆手に取り、過去最高の頻度で継続的な交流を図ることが出来ました。

③ 現地大学における日本語授業ゲスト

ロシアの大学に派遣されている日本語教師の方々からご紹介を頂き、ノヴォシビルスク国立工科大学・クバン国立大学・モスクワ市立大学の日本語授業にゲストスピーカーとしてご招待頂きました。

内容はビブリオバトルや交流会と似たような形式で行われ、ロシアで日本語を学ぶ学生さんの多さ、また日本語の流暢さに驚かされ、会員の言語学習における大きな刺激を貰いました。

④ 定例会

概ね月に一度の頻度で開催し、定期的に会員が顔を合わせ、活動について共有する為の場所を設けました。また業務連絡のみならず、一部の回においてはプレゼン大会やロシアからの中継など、お楽しみ企画を組み込み、継続的な会への参加を促しました。

また欠席者向けに別回を座談会として開催し、多数在籍する会員それぞれの予定に合わせて柔軟に対応しました。

⑤ 姉妹団体「セーミチキ」とのオンライン東西交流会

関西・大阪大学を拠点とする姉妹団体「セーミチキ」の皆様とは、従来年に一度の合同合宿で親睦を深めておりました。しかしコロナ禍によりオンライン活動が主体となったことで、合同イベントを容易に開催出来るようになりました。

当会主催の座談会や映画鑑賞会への招待、また逆にセーミチキの皆様が主催される勉強会へご招待を頂けるなど、オンラインミーティングの急速な普及により、東西交流は従来に比べて大きく加速しました。

⑥ 初心者向け言語講座

ロシア語以外の言語に精通する会員を講師とし、初心者向けの中国語・ドイツ語会話講座を開催しました。ロシア語のみならず、様々な言語学習への意欲が高い会員の多さを象徴するイベントでした。

○単発イベント

① シベリア抑留勉強会

北海道・札幌市の市民団体「シベリア抑留体験を語る会札幌」にご協力を頂き、語り部でいらっしゃる西野忠士様に、戦後シベリアに抑留された当時の体験談を伺う勉強会を開催いたしました。

歴史の生き証人である語り部の方の貴重な証言の数々に耳を傾け、ロシア語を学ぶ、また日露交流に携わる学生として、極めて重要な知見を得ることが出来ました。

② ゲーム大会

流行のコミュニケーションを必要とする人狼ゲーム「Among Us」大会を開催し致しました。会は大いに盛り上がり、息抜きとしてロシアに関係のないイベントを通して、普段とは違った方向性で親睦を深めることが出来ました。

③ オンラインロシア映画鑑賞会・バレエ鑑賞会

Amazon Prime のウォッチパーティー機能を使用し、オンラインでロシア映画鑑賞会を開催しました。付属のチャット機能を用いて、通話をせずとも会話しながら楽しむことが出来ました。またバレエ鑑賞会では YouTube にアップされているマリインスキー劇場による「くるみ割り人形」の動画をそれぞれで再生しながら、通話で場面ごとの解説をしつつ盛り上がる事が出来ました。

※Discord サーバーの開設について

東京理科大に所属する2年生の会員により、当会初となる Discord サーバーを開設致しました。業務連絡用の LINE とは別のツールを使用することで会員同士の気軽な交流を促進し、また zoom に比べ映像共有の遅延が少ない事から、一部のオンラインイベントは Discord 通話を使用し開催されました。

3. 2 主な企画内容（対面）

○定例イベント

① ロシア音楽鑑賞会

7/9 一橋大学管弦楽団

10/9 クラスヌイ・フィルハーモニー管弦楽団

12/11 東京外国語大学管弦楽団

ロシアのクラシック音楽をプログラムに組み込んだ学生オーケストラの演奏会鑑賞に、年3回伺いました。

オーケストラの演奏を聴くのは初めて、または殆ど無いという会員が殆どでしたが、オールロシアプログラムの魅力溢れる美しい演奏に感動し、ロシアにおける音楽文化の偉大さを認識しました。

② ロシア映画鑑賞会

6/27 「ハチとバルマの物語」

7/8 「DAU ナターシャ」

11/21 「1941」

12/4 「やさしい女」

緊急事態宣言による延長の繰り返しを経て、6月末に今年度初めての対面形式のイベントとして開催されました。その後も別作品で開催された人気企画で、感動系からアクションまで幅広いジャンルのロシア映画、またはロシア文学を題材とした映画を鑑賞いたしました。

③ ロシア演劇鑑賞会

1/16 地点「ギャンブラー(賭博者)」

2/25 早稲田大学コンツェルト「夜明けの星たち」

「ギャンブラー」はドストエフスキー作「賭博者」の舞台版で、著名なロシア文学を日本語で舞台化するという挑戦的な演出作品を鑑賞しました。

「夜明けの星たち」は学生が演じる全編ロシア語の台詞や発音、演技力といった圧倒的なクオリティに引き込まれ、大きな刺激を受けました。

○単発イベント

① 12/5 静岡研修

毎年恒例の合宿の開催は昨年度に引き続き、新型コロナウイルスの影響により叶いませんでしたが、日帰りの静岡研修は今年度唯一の遠足企画となりました。静岡県には、プチャーチン提督率いるロシア艦隊が来航した下田市、津波で破損した船を修理した沼津市戸田地区など、ロシアに縁のある場所が多く存在したため、関連する多くの施設を訪れました。また、静岡在住の会員との初対面も果たしました。

○訪問施設

(沼津市戸田)

- ・戸田造船郷土資料博物館
- ・宝泉寺
- ・大行寺

(富士市)

- ・三四軒屋緑道公園内・ディアナ号の錨
- ・ふじのくに田子の浦みなと公園

(静岡市)

- ・日本平夢テラス

② 12/19 ロシア・ユーラシア料理会

目黒区青年プラザの調理室をお借りし、前回開催から2年ぶりに開催いたしました。主にスラブや中央アジアの料理(プロフ・ボルシチ・ウハー・蕎麦の実)をつくり、それらの地域における食文化への理解を深めました。

3. 3 その他の活動内容

3月、新体制最初の活動として、ロシア連邦協力庁様主催の写真展オープニングイベントへは準備段階から出席させて頂きました。

5月には株式会社テクノソリューション様、及び北海道大学モスクワ支部様ご主催によるロシア人学生向けに開催された日本留学フェアにて日露学生連盟様と共にご招待いただき、日本の大学生活に関するプレゼン発表をロシア語で行いました。

そして日本・ロシア協会様による衆議院議員第一会館での勉強会イベントには運営のお手伝いとして参加させて頂き、J I C様及び日ロ交流協会にはご主催の講演会に会員をご招待頂けるなど、各種関連団体様に多くの外部主催イベントに出席させて頂きました。

弊会会員をご招待頂きました団体の皆様には心より御礼申し上げます。

第四章 特別企画について

4. 1

第5回ロシア関連分野就職促進シンポジウム「Мечта」(ミチター)

○開催概要○

2017年より開催させて頂いております、当会の恒例企画です。昨年に引き続き2度目のオンライン開催となりましたが、今回から初めてイベント有料化という形を取り、新たなプラットフォームであるVimeoのライブ配信機能を使用する形を取らせて頂きました。

基調講演には駐日ロシア連邦大使館参事官イーゴリ・チトフ氏をお迎えし、学生向けにロシア留学に関する制度のご紹介をして頂きました。

パネルディスカッションでは幅広いジャンルからお招きした登壇者の方々にご出演頂き、それぞれの視点から、ロシア・ユーラシア地域に興味を持つ学生へのご意見を頂きました。

会員及び一般参加の方々を合わせて100人の方々にご視聴頂き、2度目のオンライン開催も盛況となりました。ライブ及びアーカイブをご覧頂いた皆様、ありがとうございました。

○イベントページ○

<https://mechta5.peatix.com/>

・日時

令和3年10月10日(日) 日本時間15時~18時

・視聴料金

770円/人

・開催形態

ZOOM ミーティングをVimeoにてライブ配信

○プログラム

第一部

- ・開会挨拶
- ・基調講演

【イーゴリ・チトフ氏

(駐日ロシア連邦大使館参事官 兼 ロシア連邦文化科学協力庁駐日代表)】

- ・ご登壇者のご経歴・事業の紹介
- ・パネルディスカッション

(ロシアに関する共通のテーマに対するご意見をご登壇者の方々より頂きました。)

～休憩～

第二部

- ・質疑応答

○ご登壇者紹介

=坂本拓哉氏=

(商社 / MMC Rus (ロシア三菱自動車))

神奈川県横浜市出身。

2017年三菱商事へ入社。自動車事業本部でロシア向けビジネスを担当。

2019年から語学研修でロシア・サンクトペテルブルクへ赴任。

2021年3月ロシア・モスクワのMMCR社にて実務研修を開始。主にディーラー営業支援を担当し、現在に至る。

=根畑陽一氏=

(貿易・ロシア語講師 / バーニャジャパン株式会社 代表取締役)

石川県金沢市出身。神戸大学経営学部卒業。元三井物産10年、内ロシア在住歴4年。駐在経験を生かした実践的なロシア語オンラインスクールを運営。ロシア語YouTubeチャンネルを開設。ロシアのバーニャに魅せられて、本場のマスター達からウイスキー(オークや白樺の枝葉を使ってバーニャ内で行うマッサージ)を習得。

2021年3月、ロシア製テントバーニャ Terma を輸入販売するバーニャジャパン株式会社を設立。2021年7月、モスクワで開催されたバーニャフェスのウイスキーロシア全国大

会にて、日本人として初めてウイスキーを披露。日経新聞社主催のサウナイベント NIKKEI INNOVATIVE SAUNA のバーニャ運営・ウイスキーを手がける等、ロシアのバーニャ文化・ウイスキーを日本に広めるために活動中。

=大森貴之 氏 =

(IT / Route X Inc. CEO) ※旧関西本部 (現セーミチキ) OB

海外渡航歴 60 カ国、学生時代にシリコンバレー、イスラエル、ロシア等でのインターンや調査を経験。海外のスタートアップ・エコシステムのリサーチを専門とし、世界中のスタートアップのビジネスモデルやテクノロジーの分析を行なっている。ロシアや旧ソ連地域が得意。シリコンバレーで毎年開催される Facebook の最も重要なカンファレンス「F8」にて 2019 年度は日本人で唯一「F8 Hackathon」に参加。シリコンバレー発の世界最大のエンジニアとスタートアップのコミュニティ Facebook Developer Circles と AngelHack の日本運営代表を務めている。京都大学 MBA (経営学修士) 修了

=牧野寛 氏 =

(IT / SAMI LLC 代表取締役)

2013 年東京外国語大学ロシア語卒。卒業後、楽天にて E コマース事業に従事。退職後、サンクトペテルブルクへ移住し、2017 年、ロシアスタートアップ企業の日本進出を支援する SAMI LLC をロシア人と共同創業。現在は、自社 Web サービスの開発や、Web の受託開発などへも事業を拡大中。

=森一馬 氏 =

(アパレル / Bunker Tokyo オーナー (株式会社リバーヘッド代表取締役))

國學院大學法学部法律学科を卒業後、個人事業主として音楽制作業をスタート。2007 年音楽制作会社として株式会社リバーヘッド設立。2011 年オンラインアパレルショップ Ugglä を設立。拠点をベルリンに持ち、北欧を中心に洋服の買い付けを行う。2017 年、ラフォーレ原宿にて「Ugglä Russian Selects」ポップアップショップを開催。同年、モスクワのストリートファッションイベント「Be in open」にて講演。

2018年アパレルショップ BUNKER TOKYO を設立。2019年「Mercedes Bents fashion week Russia」にて講演。

2021年 BUNKER TOKYO をリニューアル、カルチャーショップ BUNKER TOKYO として再オープン。11月1日より現代陶芸販売オンライン「窯と土」をオープン予定。

=駒木明義 氏=

(報道 / 朝日新聞論説委員)

東京都出身。

1986年、東京大学理科一類に入学し、第2外国語にロシア語を選択。

90年、朝日新聞入社。94～95年、モスクワで語学研修。

2005～08年及び13～17年にモスクワ特派員。共著や著書に『検証日露首脳交渉』『プーチンの実像』『安倍 v s. プーチン』

4. 2 『ロシアの日～Powered by 渋谷渦渦～』 (中止)

【主催】 日本ロシア学生交流会

【特別協力】 東急株式会社様

【会場協力】 東京カルチャーカルチャー様

※諸事情により 2/24 付で中止

○開催概要○

2020年2月に東京・芝公園にて開催いたしました「プラーズニク」は多くのご来場者様にお越しいただき、大盛況のもと閉幕致しました。

この「ロシアの日～Powered by 渋谷渦渦～」は、「プラーズニク」に次ぐ日本ロシア学生交流会の大型文化祭イベントとして計画されたもので、制作した企画書を東急株式会社様ご主催のイベント公募企画「渋谷渦渦」(<https://shibuyauzuuzu.themedia.jp/>)に応募し、12月に後期企画として採択のご連絡を頂いたことで、東急株式会社様、ならびに東京カルチャーカルチャー様の担当者の皆様と準備を進めてまいりました。

楽器演奏、ダンス、トークショー、更に現地からの中継やクイズ大会まで、「ロシアが好き」という内容を詰め込んだプログラムとし、意外と知らない隣国であるロシアの世界を感じていただけるようなイベントに仕上げ、終演後には参加者同士での交流が可能な後夜祭の開催を企画しておりました。

また、2/12から2/24日まで、渋谷スクランブル交差点の正面に位置する「Q's EYE」にて、Saya Scarlet様ご出演のイベントCMを放映させて頂きました。

○イベントページ○

<https://russiashibuya.peatix.com/>

○渋谷スクランブル交差点「Q's EYE」にて放映されたCM○

https://mobile.twitter.com/russia_shibuya/status/1492858516335636481

・開催日時

2022年3月12日(土)

開場 16:30 開演 17:00 終了 19:15

後夜祭 19:30~21:00

・チケット

前売りチャージ券 2500円・後夜祭 1500円

・同時配信

プラットフォーム：ツイキャス

同時配信チケット 1000円

○ゲスト出演者様

・クラスヌイ・フィルハーモニー管弦楽団（楽団・楽器演奏）

2018年3月、Kプレミアムオーケストラ（慶應義塾大学）の奏者およびそのOBOGを中心に発足。ロシア音楽を中心としつつ、演奏会ごとにテーマをもたせたプログラムを組み、メジャーな曲には新たな価値を、マイナーな曲には新たな光を…といった目標をもって活動している。「幅広いロシア音楽の紹介」「ほかではできない、ここだけの演奏・演出」を目指している。団員数も着実に増加しており、現在では大学内外・年齢を問わず参加者が集まっている。

団体名の「クラスヌイ（красный）」とは、ロシア語で「赤」あるいは「美しい」「情熱」を意味する語。モスクワに在る「赤の広場（Красная площадь）」に着想を得て名付けられた。

・ジェーニャ（声優・トークショー）

3月22日、B型。

ソ連生まれ、ロシア育ち、日本暦17年。

声優を目指して2005年に来日し、2009年に「エヴァンゲリオン新劇場版：破」で声優デビュー。声優・歌手・タレント活動のほか、アニメや映画などのロシア語監修と発音指導も多数。ロシア・ノヴォシビルスク国立経済経営大学 IT 学部卒業。

日本語能力試験 N1 合格、TOEIC 935 点。ロシア語・日本語・英語のトライリンガル。

代表作：劇場版アニメ「ガールズ&パンツァー」クララ役、アニメ「怪盗ジョーカー」レディー・ダウト、
テレビ NHK E テレ「テレビでロシア語」「ロシアゴスキー」レギュラー 等

・アディリヤ（インフルエンサー・中継トークショー）

カザン国立大学在学中の現役大学生。

日ロ交流プロジェクト「NICHIRO SEINEN」創始者。

インフルエンサーとしても Youtube などで活躍中。

・野崎大我 / ジギット野崎（カフカスダンス）

2002/3/10 東京都生まれ。

高校在学中にコーカサスや中央アジアの伝統文化と出会い、レズギンカ(北コーカサスの伝統舞踊)やモンゴル、中央アジアの喉歌といった各地の伝統芸能を独学で学ぶ。

高校卒業後も会社員として働きながら練習を続け、ダゲスタン国立学術功労舞踊アンサンブル「レズギンカ」から日本人として初めてスカウトされる。

・Slavyane（スラブダンス）

メンバーはロシア、ウクライナ、アゼルバイジャン、日本出身者により構成。

横浜や東京の様々な国際フェスタを行う会場で年に10回発表活動を行う。

わたしたちのダンスを通して多くの日本の方々や在住スラブ人にスラブの雰囲気を楽しんでいただいております。

・四方宏明（トークショー・後夜祭 DJ）

2015年P&G退社後、（株）conconcomで商品・サービスのリサーチ・開発支援をするコンサルタントとして活動。

2001年より、ウェブ媒体(All About、citrus)、雑誌(MUSIC MAGAZINE)を中心に音楽からビジネスまで幅広いテーマで執筆活動をする。著書に『共産テクノソ連編』『共産テクノ東欧編』『欲望とインサイト』がある。

・山中明（トークショー・後夜祭 DJ）

1979年生まれ。神奈川県出身。レコード・バイヤー&リサーチャー、ライター、エッセイ漫画家。2003年より（株）ディスクユニオン所属。『ソ連ファンク 共産グルーヴ・ディスクガイド』著、「PSYCHEDELIC MOODS - Young Persons Guide To Psychedelic Music USA/CANADA Edition」編著。レコード文化の発展に寄与すべく、各種媒体にてコラムや漫画等執筆中。

第 34 期日本ロシア学生交流会 関東本部報告書

2022 年 3 月発行

文責・編集：日本ロシア学生交流会令和 3 年度代表 華東師範大学 3 年 上原逸人

発行：日本ロシア学生交流会 関東本部